

平成30年度

社会福祉法人白浜町社会福祉協議会

事業実施報告書

(自平成30年4月1日～至平成31年3月31日)



社会福祉法人 白浜町社会福祉協議会

平成30年度事業実施報告

少子高齢化では、全国平均の先を行くわが町ではあるが、その中でも安心して生活できる地域にしたい、健康で生きがいのある心豊かな生活を送りたいと思う住民の皆さんや、町内会・区の役員、民生委員・児童委員、ボランティアの方々と地域福祉座談会や支え合いマップづくりなど、またサロン活動の実施に向けた話し合いなど、様々な対話を行い、本年度においても地域でのつながりづくりや充実した生活への支援活動を行った。

昨今、地球規模での自然災害の増加により日本全国どの場所においても、いつ災害に見舞われても不思議ではない状況であるが、平成30年度において特に大きな災害であった「平成30年7月豪雨」においては、甚大な被害状況から全国的な被災地支援活動が行われ、本会も、全国社会福祉協議会、近畿ブロック各社会福祉協議会、和歌山県社会福祉協議会と組織的な連絡連携体制のもと、被災地の災害ボランティアセンター運営支援活動を行うため、職員を7月に広島県福山市へ、9月に岡山県倉敷市へ派遣した。このような自然災害への対応を社会福祉協議会としてどのように行うか、またどのように広域連携の体制を構築して行くかを研修するため、本年度も近隣の社会福祉協議会（田辺市・上富田町・すさみ町）と和歌山県社協との協働による、田辺西牟婁災害対応訓練事業を実施した。

それから、10月27日（土）～28日（日）に開催された、「第3回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」においては、「平成30年度地域福祉のひろば」を開催し、基調講演・実践発表・意見交換を行った。基調講演では、「誰もが参加できる地域を目指して」と題して、日本福祉大学社会福祉学部の野尻学部長補佐に講演いただき、実践発表では、湯崎老人会七湯会会長から「湯崎のひとりひとりが身近に～顔の見えるなじみの関係づくり～」、安居地区自主防災組織隊長による「安居地区自主防災組織について」、白浜町立児童館館長と中学生サポーター代表による「白浜町立児童館 中学生・高校生サポーターのとりくみ」の3つの発表を行った。

また、本年度も社会的包摂にむけた福祉教育と福祉共育の推進に取り組み、町内各小中学校が行う福祉体験学習（出前講座）の開催を支援し、地域住民や老人クラブ、ボランティア、障害を持たれた方などをゲストティーチャーとして招いて「ふくしの学び」を促す活動を行った。

本会は、本年度も一人ひとりが住み慣れた自宅や地域で安心してその人らしく暮らし続けられることを目標とした、地域福祉推進計画の基本理念「ひとりひとりを大切にするまちしらはま」と、地域福祉の推進目標としての住民の「ふだんのくらしのしあわせ」の実現を目指して取り組みを進めた。

1. 法人組織の運営（経営）基盤の充実

理事会、評議員会を開催し、本会の法人運営に関する重要事項や事業の実施について協議、決定を行った。

① 理事会 4回 (理事定数：15名)

会議名 開催日	議長・出席数	議案審議内容
第1回理事会 平成30年 4月25日	議長：生本洋三 (12名・監事2名)	協議第1号 社会福祉充実計画の変更協議の進め方について 協議第2号 正規職員の定年後再雇用条件の検討について
第2回理事会 平成30年 6月 5日	議長：川口祥子 (12名・監事2名)	議案第1号 平成29年度事業報告及び決算の承認について 議案第2号 社会福祉充実計画変更の是非の検討について 議案第3号 定款施行細則の一部改正について 議案第4号 平成30年度定時評議員会の招集について 会長職務執行状況報告
第3回理事会 平成30年12月13日	議長：川野眞夫 (14名・監事2名)	議案第5号 事務局規程の一部改正について 議案第6号 正規職員就業規則の一部改正について 議案第7号 職員定数規程の一部改正について 議案第8号 資金運用規程の一部改正について 議案第9号 評議員候補者の推薦について 会長職務執行状況報告

会 議 名 開 催 日	議 長 ・ 出 席 数	議 案 審 議 内 容
第 4 回 理 事 会 平 成 3 1 年 3 月 1 8 日	議 長 : 田 井 た づ 子 (1 4 名 ・ 監 事 2 名)	議案第 1 0 号 会員規程の一部改正について 議案第 1 1 号 福祉委員規程の一部改正について 議案第 1 2 号 委員会規程の一部改正について 議案第 1 3 号 再任用職員就業規則の制定について 議案第 1 4 号 平成 3 0 年度収支補正予算 (第 1 号) について 議案第 1 5 号 2 0 1 9 年度事業計画について 議案第 1 6 号 2 0 1 9 年度当初予算について 議案第 1 7 号 任期満了に伴う苦情解決第三者委員会委員の委嘱について 議案第 1 8 号 事務局長の選任及び解任について 議案第 1 9 号 平成 3 0 年度第 2 回評議員会の招集について

②評 議 員 会 2回 (評議員定数：31名)

会 議 名 開 催 日	議長・議事録署名人 (敬称略)・出席数	議 案 審 議 内 容
定時評議員会 平成30年 6月22日	議 長：南 和代 署名人：城 皆子 署名人：小森弘子 (22名・監事2名)	議案第1号 平成29年度事業報告及び決算の承認について 議案第2号 大谷昌明氏を理事として選任する件について
第2回評議員会 平成31年 3月27日	議 長：佐本 望 署名人：田井郁也 署名人：七瀧恵子 (18名)	議案第3号 会員規程の一部改正について 議案第4号 福祉委員規程の一部改正について 議案第5号 委員会規程の一部改正について 議案第6号 平成30年度収支補正予算(第1号)について 議案第7号 2019年度事業計画について 議案第8号 2019年度当初予算について

③企画委員会 2回

企画委員会委員：(冷水喜久夫【委員長】、湯浅主久【副委員長】、中本進、大谷昌明、横矢貴彦、川口祥子、西浦敏和、三栖健次)

オブザーバー：会長 石田武夫

会議名 開催日	出席者数	協議内容
第1回企画委員会 平成30年 9月20日	冷水委員長以下7名、石田会長	1. 「第3回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」の開催内容について 2. 「第3回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」における社会福祉協議会会長表彰候補者並びに感謝状授与候補者の審査について 3. その他
第2回企画委員会 平成31年 2月28日	冷水委員長以下7名、石田会長	1. 社会福祉充実計画の実施状況について 2. 正規職員の定年後再雇用に係る「再任用職員就業規則」の制定について 3. その他

④広報啓発委員会 1回

広報啓発委員会委員（川野眞夫【委員長】、田井たづ子【副委員長】、中本進、冷水喜久夫、生本洋三、坂本康二、湯川秀樹、吉田暢子）

ホザパ：会長 石田武夫

会議名 開催日	出席者数	協議内容
第1回広報啓発委員会 平成31年 2月28日	川野委員長以下8名、石田会長	1. 平成30年度広報啓発活動実施状況について 2. その他

⑤評議員選任・解任委員会 1回

評議員選任・解任委員（安田延男【監事】、國本徹、脇江俊夫【外部委員】、大久保道博【事務局員】）

会議名 開催日	出席者数	協議内容
第1回評議員選任・解任委員会 平成30年12月21日	安田延男以下4名	1. 社会福祉法人白浜町社会福祉協議会評議員の選任について 2. その他

⑥地域福祉推進計画評価委員会 1回

地域福祉推進計画評価委員会委員（冷水喜久夫【委員長】、田井たづ子【副委員長】、岩城英伸、川口祥子、小山洋治、坂本康二、清水京子、城 皆子、西浦敏和、中島シゲ子、中本 進、湯浅主久、湯川秀樹、三栖健次）

オブザーバー：会長石田武夫、和歌山県社会福祉協議会総務・資金部地域連携班副主査 鍋田富美、白浜町民生課福祉係係長 平野健志、白浜町民生課福祉係主査 吉田雄太

助言者：日本福祉大学社会福祉学部准教授 野尻紀恵

事務局（事務局長、事務局次長、地域福祉担当職員5名）

会議名 開催日	出席者数	協議内容
第1回地域福祉推進計画評価委員会 平成31年 2月13日	冷水委員長以下12名、 石田会長、県社協鍋田副 主査、民生課吉田主査、 日本福祉大学野尻准教授	1. 地区別の今年度地域福祉推進計画の進捗状況報告について 2. 地助言者からの全体の評価について 3. その他

⑦会員（一般会員、団体会員、賛助会員）の拡大など自主財源の確保

- ・一般会費 5,634世帯(5567.7口) 5,567,700円 (29年度 5,694,400円 前年比 97.8%)
 - ・団体会費 135件(208.8口) 1,044,000円 (29年度 1,092,000円 前年比 95.6%)
 - ・賛助会費 8件(8口) 24,000円 (29年度 43,000円 前年比 55.8%)
- 合計: 6,635,700円 (29年度 6,829,400円 前年比 97.2%)

⑧情報収集と情報の提供

- ・町広報誌「広報しらはま」の2ページの紙面に広報「ふくししらはま」を掲載した。
- ・FMビーチステーションの番組内で毎週木曜日に「福祉だより」を放送した。
- ・インターネットのホームページの適時更新及び充実を図った。
- ・ホームページ内のツイッターに、事業啓発、実施状況報告、日常の出来事、緊急の情報等を掲載した。
- ・より若い世代へのアプローチと繋がりづくりのためにフェイスブックを活用した事業啓発を実施した。
- ・第3回「みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」の開催

テーマ ～さらなる文化と福祉の広がりをめざして～

趣 旨 すべての町民の皆さまにご参加をいただき、生涯学習の必要性を深め、それぞれの地域や職場で「ともに学び」「ともに育む」「ともに支え合う」心を共有できる文化と福祉の香るまちづくりをめざします。

主 催 しら・はぐフェスティバル実行委員会

主 管 白浜町教育委員会・白浜町社会福祉協議会

後 援 白浜町・白浜町議会

開催日：平成30年10月27日（土）・28（日）

会 場：白浜会館・総合体育館・青少年研修センター

※名称について：「しら」は①「白」②「学ぶ」から「知る」「調べる」を連想、「はぐ」は①「育む」②「支えあう」から「ハグ」を連想

町民みんなで学び、育ち、支えあい、楽しめるイベント（まつり）になるようにとの願いが込められています。

社会福祉功労者（団体）表彰式

社会福祉功労者 5名 感謝状贈呈者 13名

【平成30年度地域福祉のひろば】

基調講演 テーマ「誰もが参加できる地域を目指して」

講 師 日本福祉大学社会福祉学部学部長補佐 野尻紀恵 氏

- 実践発表 ・湯崎のひとりひとりが身近に～顔のみえるなじみの関係づくり～ 七湯会会長
・安居地区自主防災組織について 安居地区自主防災組織隊長
・白浜町立児童館 中学生・高校生サポーターのとりくみ 白浜町立児童館館長、中学生サポーター代表

⑨役職員研修の実施

- ・各種関係機関主催の研修会への参加

【日別行事報告書参照】

2 . 白 浜 町 地 域 福 祉 推 進 計 画 の 推 進

①地域福祉推進計画評価委員会の開催

- ・白浜町地域福祉推進計画評価委員会を設置し、委員会を開催した。【P1-7 記載】

②地域福祉推進計画の実施状況の確認

- ・白浜町地域福祉推進計画評価委員会にて、地区別アクションプランに沿った進捗状況の確認を行った。

③地域住民との話し合いや相談などあらゆる接点からの福祉ニーズの拾い上げと分析

- ・地域に向いて座談会等を開催し、地域住民、民生委員・児童委員並びに福祉委員からの相談などにより把握した福祉ニーズに基づき、地域住民、行政、他の関係機関と連携しながら課題解決に向けた取り組みの推進を図った。

3 . ご 近 所 福 祉 体 制 づ くり （ 住 民 の 助 け 合 い ・ 支 え 合 い 活 動 を 活 性 化 し た 地 域 の 見 守 り ・ 支 援 体 制 づ くり ） 事 業 の 推 進

①地区担当職員(地域福祉専門員)の設置

- ・町内を5地域に区分し、地域福祉専門員を配置

②福祉委員活動の推進

- ・福祉委員を委嘱し、福祉課題を抱えて困っている方と関係機関とのつなぎ役として、また、声かけ、訪問などで地域の情報を得ていただく見守り役としての活動をお願いした。

福祉委員数・・・ 496名 (白浜：365名、日置川：131名)

- ・福祉委員会議(地区懇談会)・・・16ヶ所(15地区)で地区懇談会を開催し、福祉委員活動、社会福祉協活動、社協会費などについての説明並びに意見交換を行った。
- ・福祉委員長会議・・・4回開催 福祉委員活動、社協会費、共同募金、歳末たすけあい募金、バザー活動などについて、各地区の福祉委員長(16名)や副委員長(17名)と協議を行った。

③地域福祉座談会の開催と支え合いマップづくりの実施

- ・地域住民からのニーズに基づいた座談会、マップづくり活動、啓発活動、フォローアップ活動等を展開した。

開催日	地区	内容
5月22日	御舟	地域での支え合いの必要性和マップづくり
6月6日	三舞・川添	地域福祉座談会(KPT法)
9月25日	御舟	地域での支え合いの必要性和マップづくり
12月10日	三舞・川添	地域福祉座談会
開催日	地区	内容
12月20日	上露	地域福祉座談会

1月16日	安宅	地域支え合いマップづくり
-------	----	--------------

④その人らしい「心豊かな生活」の実現を目指した地域住民の助け合い活動の啓発、推進

⑤要援護者との繋がりを構築することで、支援を求めやすくする環境づくり

⑥民生委員・児童委員、福祉委員、並びに町内会・区との連携強化

⑦地域住民、行政、社会福祉協議会の協働による地域福祉の推進

- ・地域で見守りが必要な方の継続的な訪問見守り活動などについて、地域住民、行政、社会福祉協議会が協働して活動を行った。

⑧住民の繋がりづくりを目的とした「あいさつ運動」の推進

- ・関係機関への啓発及びイベントでのポスター掲示を行った。

⑨「平成30年度地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業」受託実施

- ・抜け漏れのない実態把握事業

○要支援者台帳の作成

70歳以上のひとり暮らし、寝たきりの障がい者、地域で気になる住民の実態把握を行い、要支援者台帳の整備を行った。

○訪問調査票及び実績報告書の作成

実態把握により抽出された要援護者の中で、サービスに結びついていない方に対する訪問調査を行い必要なサービスに結びつけた。

・地域支援活性化事業

○地区担当職員（地域福祉専門員）相談援助 延べ 614回

(1) 支援方法について

支援方法	合計（件）	割合（％）
訪問	141	23.0%
来所相談	22	3.6%
同行	1	0.2%
電話	424	69.1%
メール	2	0.3%
ケース会議	19	3.0%
関係機関支援	0	0.0%
記録・分析	5	0.8%
その他	0	0.0%
合 計	614	100.0%

(2) 支援内容について

支援内容	合計（件）	割合（％）
福祉サービス利用等	12	2.0%
障害や病状の理解	9	1.5%
健康・医療	6	1.0%
不安の解消・情緒安定	26	4.2%
保育・教育	16	2.6%
家族関係・人間関係	70	11.4%
家計・経済	223	36.3%
生活技術	252	41.0%
就労	0	0.0%
社会参加・余暇活動	0	0.0%
緊急対応	0	0.0%
その他	0	0.0%
合 計	614	100.0%

○生活困窮者支援プロジェクト会議への参画 11回

町内における生活困窮者支援について情報交換や事例検討等を通じて、関係者が現状と課題を共有し、それらを支えるための「施策提言」「新たな社会資源の開発」も視野に入れ今後の対策を検討した。

30年度は事例検討を中心に、連携体制の強化や生活困窮者支援の物資、資金貸付等について協議を積み重ねた。

・その他の地域福祉推進事業

○住民向け講演会の実施

開催日：平成 30 年 12 月 10 日（月）10 時～12 時

会 場：白浜町中央公民館 1 階集会室

内 容：災害時ひとりひとりを大切にす～誰もが生まれてきてよかったと言える社会へ～

災害をテーマに講師が県庁運営支援チームの責任者として運営に携われた「ビッグパレットふくしま避難所」での現状から、普段からの人と人との「交流」とその交流の中で生まれる「自治」の大切さを示唆いただけた。

講 師：福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 特任教授 天野和彦 氏

参加者：46 名

4 . ボ ラ ン テ ィ ア セ ン タ ー 活 動 事 業 の 推 進

①ボランティアセンター機能強化の実施

- ・ボランティアセンターにコーディネーターを配置し、他機関との連携・協働を意識し、ボランティアニーズや生活支援ニーズに対して制度の枠にとらわれない様々なコーディネートを行った。また、ニーズの多様化に伴い、年間を通じて各種分野別セミナーを開講し、新たなボランティア・市民活動の担い手育成を行った。

○生活支援ニーズへの対応

お助け本舗（住民参加型軽度生活支援事業）活動 3 件 延べ 1 2 0 回 活動支援員 5 名

氏名	年齢性別	支援場所	支援内容	頻度	実績	支援員	開始時期
Aさん	60代男性	病院	入院中で寝たきりの状態。買い物の支援	毎週	53	3	平成 27 年 11 月 7 日～
Bさん	80代女性	自宅	高齢一人暮らし。手の届かない部分の清掃や話相手	月 2 回	23	1	平成 28 年 8 月 10 日～
Cさん	90代女性	自宅	高齢。外出機会も少なく話相手が必要	毎週	44	1	平成 29 年 3 月 7 日～

朝起こしボランティア

氏名	年齢性別	支援場所	支援内容	頻度	実績	支援員	開始時期
Dさん	中学生	自宅	登校時の乗車支援：毎回2人で支援	週2回	48	3	平成29年9月5日～

○分野別セミナーの開催

NO.	内 容	開催日	参加者数	男女比		講 師
				男	女	
1	ノルディックウォーキング 体験講座	6月16日（土）	3	2	1	JNFA 公認 ノルディックウォーキングベーシック インストラクター 北原 信行氏
2	竹あかりワークショップ	11月16日（金）	3	2	1	和歌山県竹あかり実行委員会 代表 谷 正義氏
3	コミュニケーション講座	1月19日（土）	7	0	7	和歌山県社会福祉士会 崎山 賢士氏
合 計			13	4	9	

○洗濯ボランティア活動（白浜はまゆう病院に入院している方への洗濯活動）

対象者：3名 延べ活動回数：107回

②ボランティアの相談・登録・斡旋

・既存のボランティアグループに対する相談・斡旋等の活動支援を行うとともに、人口減少を視野に入れた次代の担い手育成に努めた。

○ボランティア登録数 延べ542名（白浜地区：386名、日置川地区：156名）

③ボランティア・住民活動情報の発信

・マスメディアやSNS（Twitter/Facebook）を活用し地域の住民に対するボランティア・住民活動情報の提供を行った。

○社協広報誌「ふくししらはま」にボランティア・住民活動情報や各種セミナーの案内を掲載

○社協ホームページやSNS（Twitter/Facebook）等を活用し、ボランティア・住民活動情報の発信

○FM ビーチステーションの「福祉だより」によるボランティア・住民活動情報の発信

④ボランティアグループ支援

・ボランティアグループの運営などに関する相談の受付・支援を行った。

また、常時ボランティア活動に必要な設備や器材の貸し出しや情報提供を行った。

⑤各種イベント行事への参加・ボランティア啓発促進

・関係団体や社会福祉協議会の事業でのボランティア活動ニーズに基づき、さまざまな事業へボランティアコーディネートを行った。

※主な参加行事（その他は日別行事報告書参照）

名 称	日 付	場 所	参加者数
コスモスの郷フェスタへの参加	6 月 9 日	白浜会館前	28名

百々千園盆踊り大会への参加	8月20日	百々千園	3名
南紀白浜福祉会夏祭りへの参加	8月26日	成華苑	42名
第3回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル	10月27日 28日	白浜会館・白浜町立総合体育館周 辺	16名 76名
第33回しら浜ふれあい文化祭への参加	11月4日	住民交流センター	7名
クリーニンググリーンへの参加	12月9日	日置志原海岸・安宅周辺	14名

⑥災害を見据えたボランティアセンター活動事業の実施

- ・災害ボランティアセンター運営者研修並びに設置運営訓練の実施計画

今年度は訓練等は実施せず、次年度に向けて設置者である町と運営者である社協との協議の場づくりを行った。

次年度開催に向けて、協議を積み重ねていくことを確認。

5. 児童、ひとり親家庭などの福祉の推進

①児童館事業への協力

- ・「第18回わあいわあい子どもまつり」（11月3日）

②白浜町教育相談室「ふれあいルーム」への協力

- ・拡大会議、定例会議、個別ケース検討会議への参画実施

③母子福祉団体への活動助成（母子寡婦福祉連合会）

④青少年健全育成活動への活動助成(青少年育成町民会議)

⑤支援事業の実施

- ・歳末支援金配分事業の実施（生活が困窮しているひとり親世帯）
- ・「みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」にて「子どもふれあいブース」を開催

⑥スマイルプロジェクト（白浜中学校区不登校対策協議会）への参画

平成 29 年度よりスマイルプロジェクト（白浜中学校区不登校対策協議会）の発足と共に参画。白浜中学校区の不登校が解決しない家庭では、衣食住や生活の安全性などが保障されていない環境が多く見られている事が明らかであり、学校の課題として捉えられがちな不登校課題をいかにして地域の課題として捉え、関係機関や地域のボランティアと共に取り組むようよう参画している。①朝起こしボランティア、②学校への学習支援ボランティアを地域のボランティア、③協議会の運営支援、④白浜中学校区不登校対策協議会活動の地域福祉事業（社協内事業名：園児・児童・生徒のための支援事業）としての予算化、⑤外部講師・アドバイザーの調整を担った。

6 . 障がい者福祉の推進

①白浜コスモスの郷、日置川みどり園、いきいき作業所への協力

- ・第 1 4 回白浜コスモスの郷フェスタ（6 月 9 日）への参加のほか、各施設、作業所の活動への協力を行った。

②障がい者組織の自主活動支援

- ・身体障害者連盟への助成

③障がい者の生活支援等による社会参加への取り組み

- ・ランディーズ（砂浜でも行ける車イス）の貸与を行った。

- ・西牟婁圏域自立支援協議会への参画

7. 社会的包摂にむけた福祉教育と福祉共育の推進

①町内の小学校・中学校の児童生徒への福祉教育実践の支援

- ・児童・生徒のボランティア活動普及事業の実施 小学校10校、中学校4校へ助成

②学校などへのボランティア体験学習等の推進

- ・福祉体験学習（出前講座）の実施

学校からの依頼に基づき、小・中学生を対象に、「ふくしの学び」を促すとともに、体験や交流・ワークショップなどを通じて、同じ地域で生活し、共に共感し学びを共有できる場づくりを行った。

学 校 名	対象者	人数	協力者	人数	実 施 日	内 容
白浜第一小学校	6年生	38	手話通訳士	1	11月12日	事前学習会 ①手話学習、②車いす操作方法について ①聞こえに障害がある方との交流学习、②車いすで地域を歩こう。（保護者、地域のボランティアと一緒に地域を歩く。）
	6年生	38	聴覚障害のある方 手話通訳士	1 1	11月12日	
	保護者	30	地域のボランティア	4		
白浜第二小学校	6年生	11	七湯会	6	7月12日	湯崎の郷土料理から地域の暮らし・歴史を知ろう
		11		7	10月24日	湯崎地区ガイドブック作成に向けた情報収集
		11	保護者	5	3月11日	車いすにのって親や地域のボランティアと自分たちの地域での暮らしを考える。
	5年生	9	老人クラブ	8	3月8日	ふくしてなあに～おじいさん、おばあさんの暮らしから考えよう～

	4年生	15	老人クラブ	10	9月11日	昔の生活を知ろう！
		15	視覚障害のある方	1	11月13日	視覚障害のある方の生活を知ろう1 点字学習
			ボランティア・家族	1		
		14	ボランティア・家族	1	11月16日	視覚障害のある方の生活を知ろう2
		15	視覚障害のある方	2	11月22日	視覚障害のある方生活を知ろう3 白杖と盲導犬
			ボランティア	5		
			保護者	1		
		14	視覚障害のある方	1	12月12日	3回の交流学习からどんな地域だったらみんなが暮らしやすいか、どんな地域になれば良いか理想の町について発表し、共に考える。
			ボランティア	1		
13	七湯会	5	12月19日	学習発表と湯崎の生活で良いところ、困ることを老人クラブの方と考える		
3年生	7	老人クラブ	6	1月30日	昔の暮らしを知ろう。	
2年生	12	老人クラブ	10	11月30日	湯崎のすてきを考えよう！	
	1年生	6	老人クラブ	3	2月15日	むかしのあそびをたのしもう
西富田小学校	6年生	44			12月7日	車いす体験を通して、学校生活を考えてみよう
北富田小学校	6年生	13	地域のボランティア	12	11月27日	アイマスク体験、車いす体験。 視覚障害のある方と一緒にアイマスク体験や地域のボランティアも一緒に車いす体験を行い、(学校での)ふだんの暮らしを考える。
			視覚障害のある方	1		
椿小学校	全児童	3	保護者	4	10月16日	災害時の食事や災害ボランティアセンターからみんなのふくしを考えよう！
			地域の方	28		
			施設職員	1	11月21日	施設交流の事前学習 車いすで学校生活を考える

			施設		12月10日	施設交流
白浜中学校	2年生	36	老人クラブ	18	6月19日	福祉について考えよう ～地域のおじいさん、おばあさんの暮らし～
			包括支援センター	1		
			特養職員	1		
日置小学校	6年生	10	地域のボランティア	10	10月17日	車椅子体験学習
安居小学校	3年生以上	6			11月21日	車椅子体験学習
三舞中学校	全校	5	地域のボランティア	6	12月10日	車椅子体験学習

③～地域と交流わが町再発見～in 玉伝の開催

三舞中学校の生徒と地域住民との地域福祉座談会を行うなかで、地域での様々な課題や現在地域で取り組んでいること、又これから地車椅子域で出来ることを参加者の皆さんで出しました。

これらを達成する【交流】という言葉掲げ、地域住民の交流による「地域のつながり」や「地域の潜在力」、「地域特性」の再確認を行い、「地域力」を高めることを目的としたワークキャンプ“地域と交流わが町再発見～in 玉伝”を開催しました。

開催日：平成30年8月4日（土）～平成30年8月5日（日）

場 所：旧玉伝小学校周辺

内 容：自然体験 川遊び・竹加工・食事作り・バームクーヘンづくり

夕食後イベント（歌・クイズ、花火、映画会）旧玉伝小学校清掃作業等

参加者：小・中学校 4日 23名、5日 23名（内宿泊 17名）、

一般参加者 約18名、教職員 10名、ボランティア 14名（高校生、一般ボランティア、ボランティア連絡協議会）

④ 福祉教育モデル事業（県社協モデル事業）の取り組み

「学校を地域の真ん中においた福祉教育実践による地域課題の解決体制のしくみ」づくりを目指して3年計画で取り組む1年目。本年は3つの取り組みを行った。

- 1) 小学校と中学校におけるプログラム軸のゆるやかな設定。本年度実施した福祉学習からの分類（白浜中学校区での実践より）・考察を行い保幼小中の連携した取り組みから、福祉教育としての関わりはなくても学校の取り組みに参画する中で、地域の福祉力の全体的な底上げを感じた。
- 2) 社会福祉協議会の取り組む地域福祉事業の小学校区単位、中学校区単位での再編成を行い、中学校区を基盤とした地域福祉事業の取り組みの認識が組織としてされ始めた。
- 3) 小学校、中学校でのプログラムへの協働団体の広がりをつくるため、福祉教育講演会（平成31年1月28日）の実施から、垣根を超えて、学校や地域、社会と共に生きる活動を展開している戸枝氏に講演いただき、今後、事業所も学校も地域も「いっぽ」のり超えるきっかけづくりになった。

8. 保健・医療・福祉のネットワークづくりの充実

①保健・医療・福祉関係者との連携強化

- ・事例検討会への参加
- ・地域ケア会議への参加（在宅福祉課担当者等）
- ・地域ケア会議・困難事例検討会への参加（地域福祉担当者等）
- ・白浜町介護保険サービス提供事業者連絡会への参画

9. 福祉総合相談の充実並びに判断能力の十分でない人への相談援助と支援

①福祉総合相談

- ・一般相談（福祉・生活相談）及び専門相談（法律・人権・財産・登記）を、担当者を配置して実施した。
- ・電話相談も含め常時相談受け付け体制を確保した。

○相談実施場所 白浜地区：本部事務所、青少年研修センター

日置川地区：高齢者生活福祉センター夢の里、みまい荘、川添山村活性化支援センター

○相談担当者 福祉相談員 13 名（民生委員・児童委員）、弁護士 1 名、司法書士 1 名、人権擁護委員、法務局職員

【相談所の月別相談実績】

開催月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
本年度件数	7	3	7	6	3	7	4	5	6	2	4	2	56
前年度件数	5	2	6	11	6	9	5	6	1	8	4	6	69
前年比%	140%	150%	117%	55%	50%	78%	80%	83%	600%	25%	100%	33%	81%

【相談所の相談内容別実績】

相談内容	生計	多重債務等	貸金	家賃未払い	生命保険	住宅ローン	年金	職業・生業	住宅・土地	家族	離婚	健康・衛生	医療	精神保健	人権・法律	財産	事故	母子保健	児童福祉・	相続	苦情	その他	計
件数	0	5	1	0	0	2	0	0	16	6	6	0	0	0	1	0	1	0	14	1	3	56	

②福祉サービス利用援助事業

・判断能力が不十分な高齢者や知的障害・精神障害のある方などが安心して生活がおくれるよう定期的に専門員、生活支援員がお伺いし、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を支援した。

新規契約数：7 件、解約件数：2 件

平成 31 年 3 月 31 日現在 契約実数： 33 件

生活支援員： 4名

③法人後見事業

- ・成年後見制度に関する相談を受けるとともに、家庭裁判所からの推薦依頼に基づき成年後見人の業務を法人として行う法人後見事業を実施した。

平成31年3月31日現在 受任件数：後見 1件

保佐 2件

任意後見契約 4件

10. 関係団体（機関）並びに地域住民の参画・協働の推進

①単位老人クラブ、老人クラブ連合会活動への協力と連携

- ・白浜町老人クラブ連合会白浜支部主催「シニアレクリエーション大会」（10月3日）への協力
- ・白浜町老人クラブ連合会白浜支部主催「歩く歩く会」実施への協力
- ・白浜町老人クラブ連合会日置川支部主催「高齢者運動会」（10月31日）への協力
- ・白浜町老人クラブ連合会白浜支部主催「歌と踊りのふれあいの場」（2月20日）への協力
- ・白浜町老人クラブ連合会日置川支部主催「ペタンク・グラウンドゴルフ交流大会」（3月14日）への協力
- ・白浜町老人クラブ連合会日置川支部主催「気になる高齢者定期見守り活動事業」への協力

②関係団体への活動助成

③関係団体（機関）との連携・協働

- ・SOS白浜（徘徊高齢者捜索ネットワーク）への参画

- ・自殺防止対策会議への参画及び三段壁周辺パトロールへの協力

11. 地域住民、行政及び関係機関との連携による災害時要援護者救援体制の整備推進

①地域・白浜町及び関係機関と連携を図り、災害時に備えた福祉救援体制づくりを推進

②白浜町の防災訓練等への参画

③田辺・西牟婁災害対応訓練事業の実施

目的：近年の、いつ大規模災害が発生してもおかしくない状況において、災害時の広域的な相互支援活動が大変重要かつ有効であるという認識に立ち、私たち田辺西牟婁の社会福祉協議会は、災害時にも地域福祉の実現を軸にして、普段からの顔の見える関係づくりを行い、大規模災害が発生した場合には連携し、迅速かつ有効な相互支援活動が実施できる体制をつくることを目的として本事業を実施する。

開催日：平成31年3月17日（日）13:00～16:00

開催場所：和歌山県立情報交流センターBig・U 多目的ホール

内容：田辺西牟婁災害対応訓練事業（ワークショップ）～ささえあい、助け合おらよ！あがらの地域。広域連携の体制構築をめざして～

参加者：75名

主催：社会福祉法人田辺市社会福祉協議会・上富田社会福祉協議会・白浜町社会福祉協議会・すさみ町社会福祉協議会

共催：社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会

12. 在宅介護事業経営の安定化と充実

①介護予防・日常生活支援総合事業

居宅介護支援については、事業対象者、家族等からの相談に応ずるとともに、その心身の状況や環境等に応じて、本人や家族の意向を基に、居宅サービス又は施設サービスの提供が確保されるよう指定居宅サービス事業者、介護保険施設等との連絡調整その他の便宜の提供を行った。

訪問型サービス、通所型サービスについてはケアプランに基づいたサービスの充実を図るとともに、指定居宅介護支援事業者（ケアマネージャー）と個々のケースについて連絡・調整を行った。また、利用者ニーズに応じたサービスを実施した。

・ 居宅介護支援（居宅サービス計画：総合事業）（事業対象者、要支援1、要支援2）

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	H30年度	18	17	17	18	17	20	18	18	17	17	19	18	214
	H29年度	21	21	22	24	25	24	22	22	22	22	21	20	266
	前年比	86%	81%	77%	75%	68%	83%	82%	82%	77%	77%	90%	90%	80%

・ 訪問型サービス（事業対象者、要支援1、要支援2）

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	H30年度	64	64	62	65	62	56	56	55	53	55	56	52	700
	H29年度	3	11	14	17	27	37	47	55	53	53	55	64	436
	前年比	2133%	582%	443%	382%	230%	151%	119%	100%	100%	104%	102%	81%	161%

・ 通所型サービス（事業対象者、要支援1、要支援2）

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	H30年度	10	10	10	10	8	7	6	6	8	9	7	8	99
	H29年度	0	2	2	2	2	3	7	8	8	6	9	11	60
	前年比	1000%	500%	500%	500%	400%	233%	86%	75%	100%	150%	78%	73%	165%

②介護保険・障がい福祉サービス事業

・居宅介護支援

要介護者や家族等からの相談に応ずるとともに、その心身の状況や環境等に応じて、本人や家族の意向を基に、居宅サービス又は施設サービスの提供が確保されるよう指定居宅サービス事業者、介護保険施設等との連絡調整その他の便宜の提供を行った。

【居宅介護支援（居宅サービス計画：介護保険）】（要介護1～5の方）

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	H30年度	127	129	130	130	124	126	128	124	125	122	124	123	1,512
	H29年度	142	139	143	143	138	139	137	130	125	126	118	119	1,599
	前年比	89%	93%	91%	91%	90%	91%	93%	95%	100%	97%	105%	103%	95%

・訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

ケアプランに基づいた訪問介護サービスの充実を図るとともに、指定居宅介護支援事業者（ケアマネージャー）と個々のケースについて連絡・調整を行った。また、利用者ニーズに応じたサービスを実施した。

【介護保険】

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	H30年度	74	73	75	75	71	74	75	72	69	67	70	70	865
	H29年度	130	121	116	114	106	95	88	80	78	78	78	73	1,157
	前年比	57%	60%	65%	66%	67%	78%	85%	90%	88%	86%	90%	96%	75%

利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	H30年度	1,157	1,221	1,233	1,229	1,202	1,097	1,195	1,110	1,089	1,045	1,022	1,105	13,705
	H29年度	1,585	1,597	1,483	1,498	1,419	1,317	1,344	1,209	1,150	1,112	1,090	1,171	15,975
	前年比	73%	76%	83%	82%	85%	83%	89%	92%	95%	94%	94%	94%	86%

【障がい福祉サービス】

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	H30年度	15	16	15	15	15	16	17	15	15	14	12	13	178
	H29年度	17	15	14	15	15	15	14	14	13	13	11	14	170
	前年比	88%	107%	107%	100%	100%	107%	121%	107%	115%	108%	109%	93%	105%

利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	H30年度	130	148	162	134	132	121	150	136	133	103	106	102	1,557
	H29年度	159	160	152	141	144	136	152	115	119	106	109	123	1,616

	前年比	82%	93%	107%	95%	92%	89%	99%	118%	112%	97%	97%	83%	96%
--	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	------	------	-----	-----	-----	-----

【地域移動支援事業】

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	H30年度	4	4	4	4	0	4	4	4	3	2	3	3	39
	H29年度	4	4	4	4	3	4	4	3	2	3	3	3	41
	前年比	100%	100%	100%	100%	0%	100%	100%	133%	150%	67%	100%	100%	95%

利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	H30年度	18	13	15	10	0	5	14	17	11	7	7	7	124
	H29年度	12	19	20	10	11	13	16	11	8	7	8	10	145
	前年比	150%	68%	75%	100%	0%	38%	88%	155%	138%	100%	88%	70%	86%

・通所介護事業（デイサービス）

ケアプランに基づいた通所介護計画を作成し、サービスの充実を図るとともに、指定居宅介護支援事業者（ケアマネージャー）と個々のケースについて連絡・調整を行い、利用者のニーズに応じた対応を行った。

【介護保険】

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	H30年度	49	50	53	51	48	48	49	47	42	40	39	42	558
	H29年度	49	46	46	49	51	50	49	45	46	47	45	45	568
	前年比	100%	109%	115%	104%	94%	96%	100%	104%	91%	85%	87%	93%	98%

利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	H30年度	394	409	436	430	403	378	422	360	344	295	306	334	4,511
	H29年度	380	375	381	390	394	400	379	345	366	376	359	426	4,571
	前年比	104%	109%	114%	110%	102%	95%	111%	104%	94%	78%	85%	78%	99%

【町単独障がい者デイサービス】

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	H30年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	H29年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	前年比	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	H30年度	8	9	9	9	9	8	9	7	9	8	8	9	102
	H29年度	8	9	9	8	9	9	9	8	9	9	8	9	104
	前年比	100%	100%	100%	113%	100%	89%	100%	88%	100%	89%	100%	100%	98%

③苦情解決事業

- ・苦情解決第三者委員の設置
- ・「苦情解決第三者委員会議」（平成 31 年 2 月 18 日）を開催し、居宅サービス事業の状況報告を行った。

出席者 苦情解決第三者委員 4 名 苦情受付担当者（介護保険事業所管理者） 3 名

会長・事務局長・事務局次長・在宅福祉総括係長

13. 在宅福祉受託事業、地域支援受託事業等の行政委託事業の受託運営

①在宅福祉受託事業

- ・訪問介護員派遣事業（処遇困難な独居高齢者・高齢者世帯等）の受託運営
- ・障害者生活指導員派遣事業の受託運営・・・延べ7回
- ・デイサービス事業（処遇困難な独居高齢者・高齢者世帯等）の受託運営
- ・配食サービス事業（処遇困難な独居高齢者・障がい者等）の受託運営・・・延べ218食

②地域支援受託事業

- ・配食サービス事業【高齢者等日常生活支援事業】（昼食弁当の配食・安否確認）の実施

	事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配食数	白浜事業所	244	215	226	202	216	167	225	207	210	210	216	233	2,571
	日置川支部	233	247	240	239	254	211	280	259	223	203	216	233	2,838

H30 年度合計	477	462	466	441	470	378	505	466	433	413	432	466	5,409
H29 年度合計	664	664	734	618	635	563	578	520	474	403	442	517	6,812
前年比	72%	70%	64%	71%	74%	67%	87%	90%	91%	102%	98%	90%	79%

※白浜事業所の一部再委託を実施

・地域デイサロン事業の実施

実施場所 白浜、富田、椿・日置、三舞の4ヵ所で実施（開催回数は、月に1ヵ所当り、月3回実施）

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	103	108	106	100	88	95	98	91	89	88	93	86	1145

・ふれあい・いきいきサロン事業運営支援の実施

白浜地区 14地区 延べ 77回 延べ1, 134名

日置川地区 7地区 延べ 49回 延べ 637名

ふれあい・いきいきサロン連絡会の開催

・家族介護者交流事業の実施

「在宅介護者のつどい」として開催

開催日	開催場所	参加人数
平成30年 7月19日	白浜町社会福祉協議会本部事務所	0名

平成31年 2月19日	白浜町社会福祉協議会本部事務所	3名
平成31年 2月21日	白浜町社会福祉協議会日置川支部	2名
平成31年 3月 8日	特別養護老人ホーム百々千園交流ホール	1名

・認知症高齢者等家族やすらぎ支援事業の実施

認知症高齢者等を介護する家族を支援する事業として、支援活動を展開

○支援員活動実績

介護家族がいる方への支援《地域支援事業》

介護者がやすらげる時間を取れるように、介護者に代わって見守り、話し相手等を行う。

介護家族がいない一人暮らしの方への支援《社協単独事業》

ひとり暮らしの方の閉じこもりなどを防ぐために、見守り、話し相手等を行う。

○支援員養成講座及びフローアップ学習会

講座名	開催日	受講者数	登録者数
やすらぎ支援員講座	平成31年 3月 9日	21名	0名

・ランチ相談窓口事業（日置川地域）の実施

地域包括支援センターのランチ相談窓口として、日置川地域の高齢者の相談支援を実施

【相談件数】

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計

日置川支部	3	0	2	2	1	3	6	0	0	1	1	0	19
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

・生活支援サポーター養成事業の実施

研修テーマ	内容	日程・場所	講師	参加人数
①地域の支え合い活動を広げるために	□地域の支え合い活動を広げるために ～たすけあいを広げるために、いま、地域を考える～	7月21日（土）13:30-15:00 @ホテルシーモア	公益財団法人さわやか福祉財団 戦略アドバイザー 土屋 幸己 氏	54名
②白浜町の現状と地域包括ケアシステム～生活支援サポーター事業について～	□白浜町の現状と地域包括ケアシステム □障害福祉分野の現状と課題 □児童・家庭における現状と課題 □生活支援サポーター養成事業と生活支援体制整備事業について	9月8日（土） 13:30-15:00 @白浜町社会福祉協議会 本部事務所	白浜町役場介護保険係 尾崎しのぶ係長 白浜町障がい児・者相談支援室ぼらんち 山本 峰世 氏 白浜中学校 校長 十河 崇 氏 地域包括支援センター 平尚之社会福祉士	13名
③コミュニケーションについて	傾聴・接遇	10月13日（土） 13:30-15:00 @白浜町社会福祉協議会 本部事務所	和歌山県社会福祉士会 崎山 賢士 氏	11名
④たすけあいを広げるために	□助け合いのカードゲーム □グループワーク+意見交換 □オリエンテーション（今後の活動紹介）	11月17日（土） 13:30-15:00 @白浜町社会福祉協議会 本部事務所	さわやか福祉財団さわやかインストラクター 高林 稔氏 白浜町社会福祉協議会 地域福祉課庄司和哉 地域包括支援センター 平尚之社会福祉士	11名
⑤補講	上記①～④を1日4コマで実施。 欠席した講義のみ参加。 ③の補講のみ実施。	1月19日（土） 13:30-15:00 @白浜町社会福祉協議会 本部事務所	和歌山県社会福祉士会 崎山 賢士 氏	3名

平成 29 年度より、地域の高齢者等が抱える個別の生活ニーズに応え、その生活を支える活動者である住民サポーターを養成することを目的に実施。

14. 高齢者生活支援ハウス受託事業（高齢者生活福祉センター夢の里運営事業）の受託運営の安定化と居住部門機能の充実

①入居者一人ひとりの心身の状況に対応し、個性を尊重したサービスの実施

・サービス内容

○食事提供が必要な方に昼食・夕食を提供

○在宅生活同様、介護保険制度・障がい福祉サービス等の在宅福祉サービス（地域支援事業・介護予防日常生活支援総合事業・介護予防事業・訪問介護・通所介護・訪問看護等）の利用で生活の自立を支援

○自立を基本としながら、生きがいづくり、趣味・娯楽活動を支援

《主な入居者対象行事等》

日帰りの外出支援サービス（食事会・スーパー等への買い物外出等）、保育園、小学校、地域住民との交流ほか

○体調不良時の医療機関受診介助

○買い物支援

○定期的な見守り、相談支援

②緊急時の短期入居の受入れ体制の確保

・白浜町高齢者緊急ショートステイ事業

平成30年度末の入居利用状況・・・8室（8名） 年間延べ利用者 12名

15. 共同募金事業への協力

①共同募金・歳末たすけあい募金の実施

・福祉委員や町内会・区の協力を得て、目標額達成に努めた。

共同募金実績額 一般募金 2,817,048 円

歳末たすけあい募金 2,445,077 円

・街頭募金の実施

福祉委員、町内 5 小学校児童、3 中学校生徒の協力を得て、町内 9 ヶ所にて啓発並びに募金活動を行った。

・配分金の効果的活用

○一般募金（赤い羽根）は次年度の配分金（一部）として受入れ、地域福祉事業に活用する。

○歳末たすけあい募金は、①歳末支援金として生活が困窮している、70 歳以上のひとり暮らし高齢者、重度障がい児者、ひとり親世帯等に配分。② 団体組織支援事業として障がい者団体、NPO 法人、ボランティア団体等へ年末年始の活動支援、③おせち料理配食事業、④しらはぐフェスティバル子どもふれあいブース、⑤寝たきり高齢者等への支援、⑥愛の日事業のため保育園・幼稚園の活動支援、⑦生活困窮者支援事業として生活支援物資購入に活用した。

（単位：円）

合 計			歳末支援金	団体組織支援	おせち料理	しらはぐフェスティバル 子どもふれあいブース	寝たきり老人等 見舞品贈呈事業	愛の日事業	白浜ほっとぷろじえくと (生活困窮者支援事業)	次年度 地域福祉活動配分金
¥2,636,982			¥517,000	¥574,140	¥65,000	¥101,031	¥62,500	¥563,015	¥205,401	¥548,895
100%			20%	22%	2%	4%	2%	21%	8%	21%
内 訳	準備金	¥191,905								
	募金額	¥2,445,077								

16. 各種支援事業の充実

①福祉器具貸与事業の実施並びに福祉用具・介護用品等の斡旋

・福祉器具貸与事業の実施

白浜地区 車イス 24 件 介護用ベッド 2 件 その他 1 件

日置川地区 車イス 2件 介護用ベッド 10件

- ・福祉車両貸与事業の実施

白浜地区 0件 日置川地区 7件

- ・福祉用具・介護用品等の斡旋

②敬老月間事業の充実

- ・敬老会の後援（9月7日） 長寿祝い品として会場にて「タオル」を配布
- ・寝たきり老人・重度障がい者へのプレゼントの贈呈：大判バスタオル54枚（白浜地区 44枚、日置川地区 10枚）

③生活一時資金貸付事業の実施

- ・平成31年3月31日現在 貸付件数 延べ28件（滞納件数含む） 償還残額 923,000円
- ・平成30年度における貸付件数 5件 貸付額 217,000円

④生活福祉資金貸付事業（実施主体：和歌山県社会福祉協議会）の実施

- ・平成31年3月31日現在 貸付件数 延べ 5件 償還完了 2件
- ・平成30年度における貸付件数： 0件、相談件数：4件

⑤愛の日事業の実施

- ・町内のひとり暮らしの高齢者（70歳以上）に対して、町内の保育園・幼稚園児が贈り物を作成し届けた。
○届けた贈り物の数：691個（白浜地区 486個、日置川地区 205個）

⑥愛のバザー・福祉バザーの開催

(白浜地区)

愛のバザー（白浜会場）	白浜会館（阪田）	2月24日	売 上	233,860
愛のバザー（富田会場）	富田農業研修会館（栄）	2月24日	売 上	142,980
			その他	5,955
			合 計	382,795

(日置川地区)

福祉バザー （第24回日置川農林業まつり）	日置中学校体育館（日置）	12月2日	売 上	90,260
			募 金	712
			合 計	90,972

⑦歳末たすけあい運動の実施

- ・歳末支援金配分事業：61件
- ・団体組織支援事業：7団体
- ・おせち料理配布事業：15件

- ・寝たきり高齢者等見舞品贈呈事業：54件
- ・しらはぐフェスティバル子どもふれあいブース：10月27日実施
- ・愛の日事業：プレゼント配布691件、ボランティアグループによる活動支援
- ・生活困窮者支援事業：支援物資（レトルト食品等）の購入

⑧被災地支援活動の実施

- ・「平成30年7月豪雨」災害被災地支援ボランティアバス職員派遣（福山市）
- ・「平成30年7月豪雨」に係る災害ボランティアセンター運営支援のための職員派遣（倉敷市）

⑨地域を元気にする活動への協力

- ・第5回南紀白浜トライアスロン大会への協力（平成30年5月20日：大会運営準備、ボランティア募集、当日ボランティア活動等）
- ・第28回南紀日置川リバーサイドマラソン大会への協力（平成30年11月11日：給水所活動等）

⑩紀南いきいきサロン・ネットワークへの参画と事業実施

- ・平成29年度に続いて、すさみ町社会福祉協議会と本会が共同で「紀南いきいきサロン・ネットワーク」を組織し、白浜町・すさみ町・有田川町のサロンボランティアリーダーや、地域住民に参加いただき、行政区を越えた交流や研修を一体的に実施した。
 - 平成30年度サロンボランティア交流会（平成30年11月13日：すさみ町総合センター）